



AI自動販売機に冷凍タイプが登場

宿泊客や従業員の食事、備品の販売にも

取締役執行役員
システム事業本部長
辰己一道氏

撮影し、AIが映像を解析・識別する。決済手続きやケースの開錠操作は利用客自身のスマートフォン等を通して



▲手に取った商品を撮影して
AIが識別する

食品技術の向上やコロナ禍を経て生活スタイルが変化したこと等を踏まえ、今回新たに冷凍タイプを販売化した。取締役執行役員の辰己一道氏は「PICK Shopは企業の社食・学食等の代替手段として活用することができ、従業員の健康的な食事をサポートする点で企業の『健康経営』の実践にも役立つ。冷凍食品も提供可能とすることで食品ロス削減等にも繋がり、オフィスや学校をはじめ、同様に食事ニーズのある宿泊施設でも活用いたるだける」と語る。

ホテルにおいては、宿泊客向けの夜食・朝食サービスのほか、ホ

テルメイドの食品・菓子類や、客室備品・アメニティ等のオプションアイテムを販売する手段としても活用できる。「ショーケースの扉はガラス張りのため、陳列商品の中身が見え、購買意欲の向上にも繋がる」と辰巳氏。

【高干穗交易】

高木穂交易(東京都新宿区)が販売する「Pic k Shop」(ピックショップ)は、3月、冷凍タイプの新製品を発売した。ビジネスホテル等の宿泊施設における軽食・弁当販売や、オフィスにおける社食提供等、幅広い用途を想定している。

じてWebアプリ上で
行い、支払いはQRコ
ードやクレジットカー
ドのキャッシュレス決
済に対応。WeCha
t PayやAlipa
y+といった海外で普
及している決済手段も
利用できる。

られるので異なむ。イズの商品でも並べて陳列しやすく補充・回収も簡単に見える。稼働・販売状況等はクラウドで管理・確認でき、欠品による販売機会ロスの削減や陳列業務の効率化等を図ることもできる。

食品技術の向上やコロナ禍を経て生活スタイルが変化したこと等を踏まえ、今回新たに冷凍タイプを製品化した。取締役執行役員の辰巳道氏は「PICK Shopは企業の社食・学食等の代替手段として活用することでき、従業員の健康的な食事をサポートする点

商品・サービス